



山口県地域景観ワークショップ通信第 5 版

光市室積地区編 【第 2 回】

- 昨年 10 月に引き続き、本年 7 月 23 日に光市で開催しました地域景観ワークショップにご参加いただきまして、大変ありがとうございました。
- 「夕涼みワークショップ」と題してまち歩きを開催する予定でしたが、長梅雨で当日も昼過ぎから強い雨となり、まち歩きを断念し、急きょ「室積らしい景観を守り育てるための方策をみんなで考えてみよう」という企画に変更し、アイデアを出しあいました。
- 瀬口氏の景観にまつわる講演、前回の壁新聞のふりかえり、そして、三吉氏の進行と村越氏のグラフィックによるワークショップで、室積らしい景観を守り育てるアイデアを壁新聞にまとめました。

	光市室積地区
開催日	7 月 23 日 (日)
場 所	光市室積公民館
参加数	60 名 (7 グループ) 地元在住の方、主婦の方、地元建築士、市外在住の方など様々な立場の方が参加されました。

景観セミナー

山口県景観アドバイザーの瀬口哲義氏から、「まちづくりと景観」をテーマに景観と住民とのかかわりについてお話しを伺いました。

良好な景観を目指すということは、貴族的な意識を持つ、ということだと考えています。美しい地域の景観を守るためには市民意識が重要になってきます。

「やはりこのまちが好き」というところから始めてほしいと思います。ワークショップはまちの DNA を探す方法で、分かり合える関係を作っていくことが大事です。



ふりかえり

前回の「ふりかえり」として、前回参加者の方に壁新聞について発表してもらいました。

前回は、5つのエリアにわかれ、まちを歩いて探検し、五感をフル活用しまちの心地よいと感じる景観(まちのお宝)を発見し、壁新聞にまとめました。

「ふりかえり」では、各班が室積のどのような景観を見つけ、どう感じたのか？イチオシスポットは何だったのか？を思い出し、まち歩きの雰囲気を楽しみました。



このたびのワークショップの目的と作業の流れ

【目的】

このたびのワークショップ（以下、「WS」という）は、第1回のWSで見つけた景観資源以外にも、まだ見つからない景観資源がたくさんあるのではということで、前回と季節や時間を変えて、室積地区にあるお宝（景観資源）を探索する予定でした。

ところが、当日の雨により予定変更し、前回のWSの壁新聞を踏まえて、室積らしい景観を守り育てるにはどうすればよいか、WSを行いました。

【作業概要】

前回の壁新聞を踏まえて、室積らしい景観を守り育てるにはどのようにしたらよいか、アイデアを出しあい、検討することにしました。

1 アイデア記入:個人作業

使うもの：ポストイットカード

景観を守り育てるには、何をすればいいの？どうすればいいの？こんなことをしたらいいのに！・・・といったことをポストイットカードに記入しました。

2 アイデア発表:個人作業

ひとりずつ、1枚ずつ順番に記入したカードを説明し、貼り付けます。

他の人の発表と同じだと思ふカードは、その上に重ねて貼り付けました。

3 アイデア追加:個人作業

ひとり発表が終わると、こんなこともあるな！ああすればいい！と思ったことを追加しました。

4 仲間集め:グループ作業

これとこれは一緒だな！これとあれも近いな！という意見をまとめて、ジャンル別に仕分けしました。

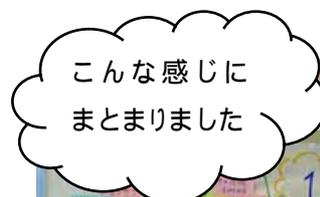
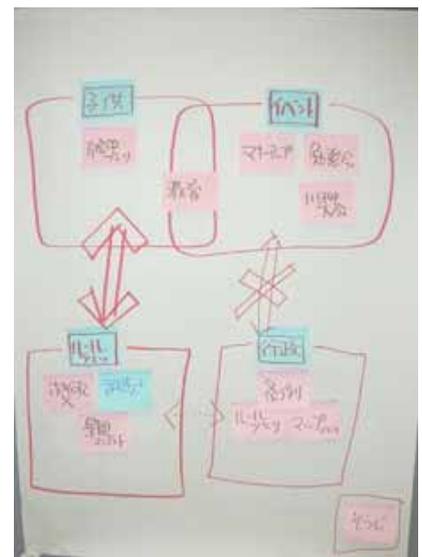
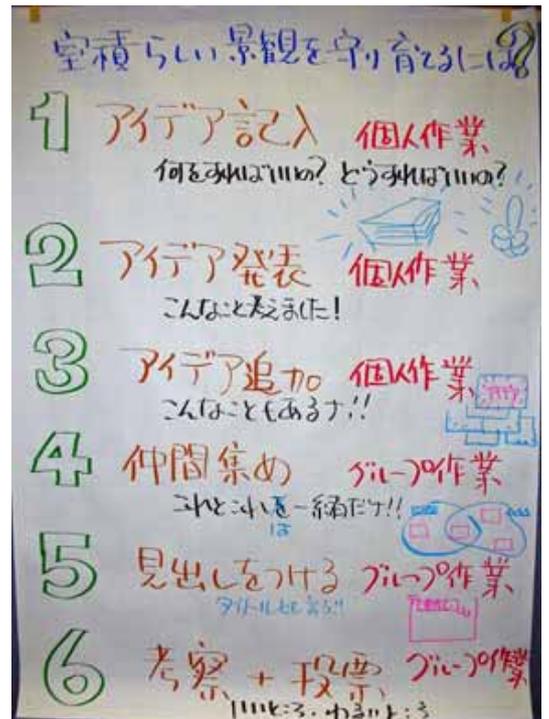
5 見出しをつける:グループ作業

仕分けしたジャンルごとに、見出しをつけます。カードの中のキーワードやイメージをタイトルにします。

6 考察+投票:グループ作業

いいところ、わるいところを検討し、これはいいと思ったカードに丸ぼちシールを貼り、優先して取り組みたい方策を選びます。

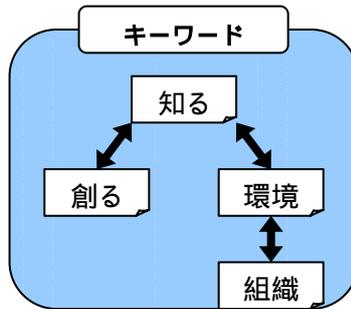
以上で「室積らしい景観を守り育てるには」のアイデアがまとまりました。



1班

ミステリーツアー 象のしっぽを探す!?

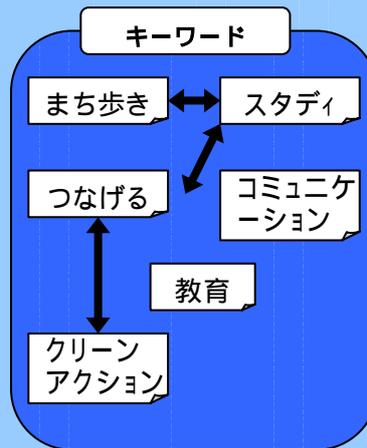
- 交差点に名前をつける
- 「あいご」に名前をつける
- 「あいご」の語源をさぐる
- 自分の街は自分できれいに!
- 地域のコミュニケーション
- 夕焼けをポーッと見る
- 昔を知る
- 住人との対話



2班

まち歩き 室積再発見

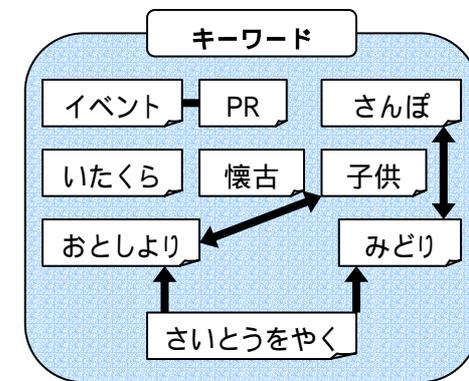
- 子供達に街を見させる
- 伝統を守り、つなげる
- 外に売り込む景観を
- 「クリーン・アクション」皆で意識を



3班

地元を大切に

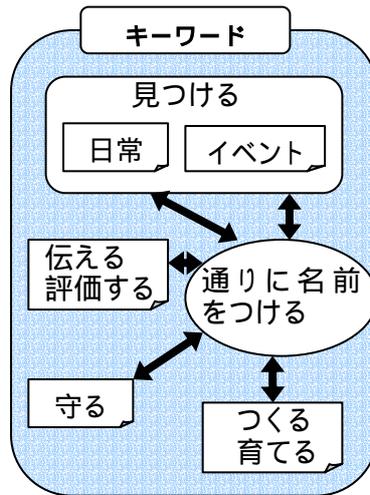
- 散歩をして新しい発見
- 地元で買い物
- 子供と駄菓子屋
- としよりと若い人との交流
- 町内の行事に参加する
- 祭りの活性化
- 和服のススメ
- 古いものを大切にする
- 駄菓子復活
- なるべく方言を使う
- ゴミ拾い



4班

通りに名前をつける

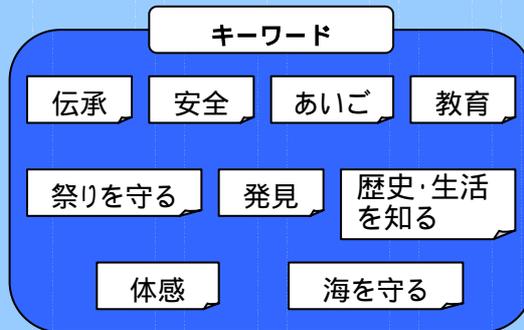
- 室積半島で大宝さがし大会
- ホームステイ
- 室積景観賞
- 私たちの指定文化財
- 「景観パトロール」隊。ゴミ拾い。廃屋の察知
- 草花を植える。樹木地図



5班

祭りを守る

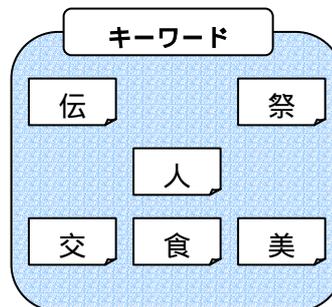
- 後継者育成
- 安全なまちづくり
- 「あいご」マップ
- 学校で室積の勉強会
- ふるさと郷土館の利用
- 祭りを大切に(早長秋祭り、花火大会)
- 日差しを感じる。海辺を素足で歩く。歩くと楽しめる
- 海をきれいに



6班

光と出逢い

- 好きな場所アンケート
- 手づくりのマップをつくる
- 記録(映像・録音)を残す
- ゆかたショウ
- 夕涼み会
- 室積の人口(子供)を増やす
- 長老の昔話を聞く会
- 室積で取れる魚料理
- 季節(春、夏、秋、冬)の景色
- 人を増やしていきたい



7班

もっと美しくミステリアスに!

- 「あいご」でかくれんぼ大会
- ミステリアスなもの
- 草木を植える
- 映画を作る
- 写生大会
- 屋根の色の統一性
- 色の調査
- 室積遺産 10 選の作成
- 独自の生活習慣



キーワード

自然美

秘

調

作

観

歴史

知る



ワークショップを終えて

講師：山口県景観アドバイザー 瀬口 哲義氏



ワークショップというのは、みんなが、知恵や思っている事を出し合えばそれで良いし、今回はそれが良くまとまっていると思います。

今日、どの班のお話を聞いても、皆さんの「この町が好きで、受け継いでいこう」、「良いモノがあったら、これを次世代にも受け継いでいこう」という熱意が、感じられたように思います。

ファシリテーター：山口県景観アドバイザー 三吉 幸夫氏

生憎の雨天で「まち歩き」は出来ず。急遽、雨天バージョンに変更。進行シナリオを組立て直し「室積らしい景観を守り育てるには」というテーマで、雨天の室内で進行。それでも当初参加申し込みをした方の殆んどが会場に参集。第1回目（昨年10月15日）に作成した壁新聞全8枚に眼を通し、これに肉付けする形で全7班に分かれて活発な共同作業で様々な提言が出た。

今回は専ら文字表現だけの壁新聞となったが、班別の壇上発表は和やかさと熱気に溢れていた。室積を愛する方々の熱い想いが、ひしひしと伝わってきた。



ファシリテーショングラフィック：山口県景観アドバイザー 村越 千幸子氏



“あいご”という、細い道の呼び方を今日初めて知りました。室積は“海商通り”のような素敵な古いまちなみも残っていますし、普賢寺のお祭りは広く知れ渡っています。

お祭りの好きな人が多く、伝統的なものを大事にしようという、気持ちが強いからではないかと思います。もっとPRすることで観光でも売り出すこともできると感じました。